


項目	内容	具体的な写真等	
新規入場者のフォロー	新規入場者には新規入場教育を実施。入場1週間はヘルメットにステッカーにて若葉マークを表示。新規入場者をフォローする。		
コミュニケーション推進	「コミュニケーションワッペン」(名札)を全員に配布。名前で呼び合うコミュニケーションを作業所として推進。		
作業所方針の周知	作業員休憩所、専門工事業者現場事務所に「作業所安全管理方針書」を掲示し、周知を行った。		
緊急連絡先の周知	作業員休憩所、専門工事業者現場事務所に「緊急連絡先」を掲示し、周知を行った。		
熱中症の防止 発生危険度の告知	当日の予想最高気温、湿度より熱中症の発症危険度について朝礼看板に告知。熱中症に対して注意喚起を行った。		
安全通路の明示	作業状況により安全通路が切り替わる箇所に、マグネットの矢印により明示を行った。		
作業内容の周知	安全朝礼時、各社代表者は当日の作業内容を安全看板正面の現場平面図を使用し、発表。		
作業内容の周知	工事・安全衛生環境打合せ実施時、2台のプロジェクタを用いて、作業内容と作業場所の確認を合わせて行い、作業のイメージを共有した。		
作業手順KY①	「作業手順KYボード」の裏に当日の作業手順書を添付し、KY時に活用。		
作業手順KY②	職員は現場巡視時、「作業手順KY」と作業手順書が合致していることを確認。		
強風対策①	吹き流しを現場にクレーンオペレーターから見やすい位置に設置し、平均風速10m/s以上は揚重作業を中止する。		

項目	内容	具体的な写真等	
強風対策②	現場に風速計を設置し、観測データは携帯電話、パソコンにより確認できるシステムを構築した。		
架空線対策① (接触防止)	架空線（高圧ケーブル）の道路横断箇所における強調明示。		
架空線対策② (接触防止)	架空線（ケーブルクレーン ワイヤ）の道路横断箇所における強調明示。		
墜落防止対策 安全帯使用状況の確認	遠方から安全帯の使用について確認できるよう、安全帯フック部に蛍光テープを貼り、強調明示を行った。		
酸欠対策	坑内における作業開始前の測定結果の明示。		
坑内作業者の把握	坑内における作業者の把握		
車両接触災害の防止	車両が頻繁にある出入りする箇所における看板の明示		
接触災害の防止 安全教育「死角体験」	重機、車両の「死角体験」。安全教育にて実施。		
クレーン災害の防止	ケーブルクレーン吊荷直下の立ち入り禁止対策。クレーン接近時、パトライトがサイレンとともに鳴動する。		
クレーン災害の防止	ケーブルクレーン合図方法を統一し、看板による明示および手帳サイズにてオペレータ・合図者に配布を行った。		
重機作業における 責任者・運転者の明確化、 資格の確認	重機車両には、責任者表示、運転者の資格証の掲示を行い、安全意識の高揚を行った。		

項目	内容	具体的な写真等	
交通事故防止①	現場内における『運行ルール』を作成し、関連専門工事業者ならびに資材搬入業者へ配布。未然の交通事故防止に活用。		
交通事故防止②	現場周辺地域における『交通ヒヤリマップ』を作成し、関連専門工事業者ならびに資材搬入業者へ配布。未然の交通事故防止に活用。	